

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒215-0026
 住 所 神奈川県川崎市麻生区古沢都古255
 氏 名 医療法人社団 三成会
 理事長 渡邊 一夫 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団三成会		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,041	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	用度管理課施設係
		所在地	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255
		電話番号	044-322-9991
		FAX番号	044-322-8688
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成26年度 ~ 平成28年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

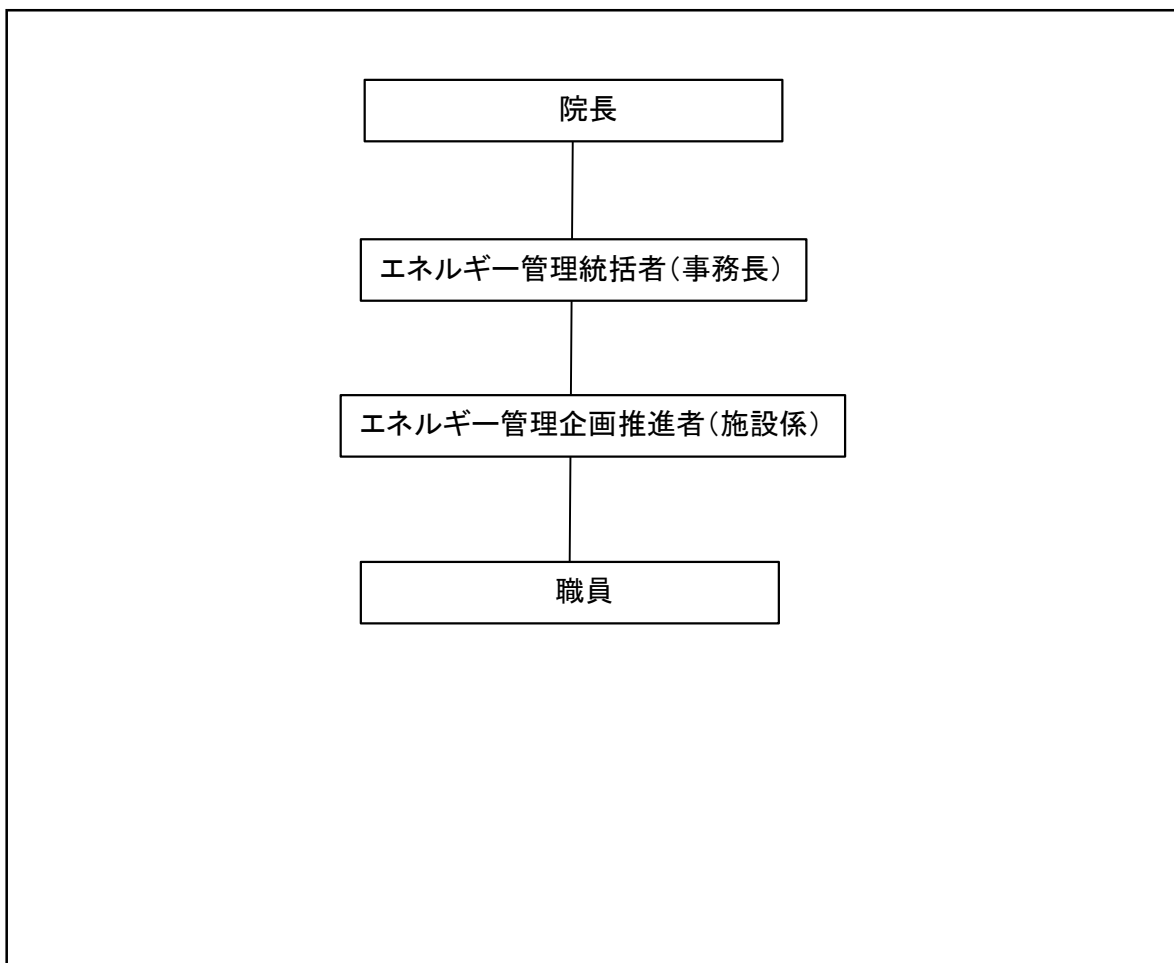
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- ・ 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- ・ 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成25年度	目標年度	平成28年度
基準排出量	(実) 6,181 (調) 5,271 t-CO ₂	目標排出量	(実) 6,100 t-CO ₂
削減率	(実) 1.3 %	削減量	(実) 81 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	在院患者数	単位	t-CO ₂ /人
基準年度の値	24.33	目標年度の値	23.02
削減率	5.4 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	在院患者数の増加に伴い、エネルギーの使用量も増加するため		

ウ 目標設定に関する考え方

照明設備および空調機器の適正管理を実施する。計画期間に実施予定の対策の実施による削減量の見込みから、在院患者数あたりの排出原単位で5.4%の削減を目標とした。排出量は在院患者数の増加を見込んでいることから1.3%の削減を目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出量の削減に向けた組織体制を作る。 ・省エネルギー対策委員会を組織し、病院全体で省エネを推進する体制を構築する。 ・省エネルギーを推進するための各種マニュアルの整備および研修会を企画する。 ・外部専門家による省エネルギー診断を受診する。 ・主要設備等に係る運転管理、計測・記録、保守・点検についての管理標準を作成する。 ・対象設備毎に点検表を作成する。 ・対象設備毎に性能、効率等の定期的な点検を実施する。 ・エネルギー消費原単位の算出および管理を適正に行う。 ・使用頻度の低い空調機は、運転・停止の切替を適切に実施する。 ・外気条件の変動に応じた冷却水温度、冷温水温度の設定を行い、エネルギー効率を向上させる。 ・ボイラーの効率的な運転のための蒸気圧力、温度の点検を行う。 ・照明機器の定期清掃を実施する。 ・外気条件の変動に応じた給湯温度、給湯圧力の設定を行い、エネルギー効率を向上させる。 ・給湯設備の定期的な保守点検を実施する。
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーについては、費用対効果を十分に検証の上、導入の可否の検討を行う。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネ効果の高い、空冷ヒートポンプチャラー（モジュールチャラー）を設置済

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・各種産業廃棄物の分別化を推進する。
- ・コージェネレーションシステムの導入を検討する。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,181	t-CO ₂
(調)	5,271	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘総合病院	川崎市麻生区古沢都古255	8311	一般病院	6,181 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--